

第10回ラムサール条約締約国会議（COP10）について

本市では、ハチゴロウの戸島湿地を核とした円山川下流域をラムサール湿地として登録することを目指し、本年10月に開催される第10回ラムサール条約締約国会議（COP10）関連事業への参加を予定している。

1、第10回ラムサール条約締約国会議（COP10）

COP = 締約国会議(Conference of Parties)

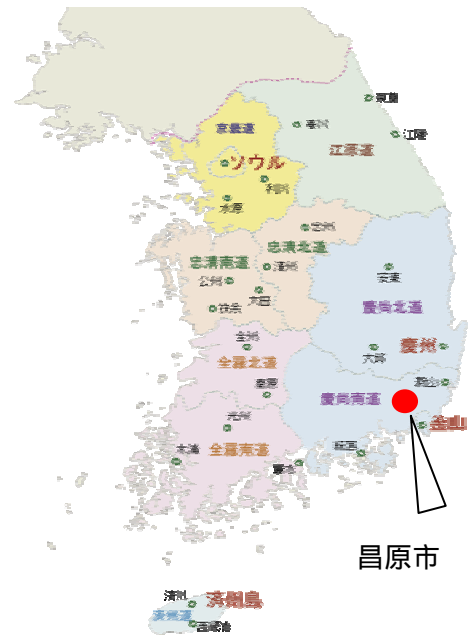
(1) と き 10月28日(火)

～ 11月4日(火)

(2) と ころ 韓国慶尚南道 昌原市

〔締約国会議〕

第1回	1980	イタリア(カリアリ)
第2回	1984	オランダ(フローニンヘ)
第3回	1987	カナダ(レジャイナ)
第4回	1990	スイス(モントルー)
第5回	1993	日本(釧路)
第6回	1996	オーストラリア(ブリス)
第7回	1999	コスタリカ(サンホセ)
第8回	2002	スペイン(パレンシア)
第9回	2005	ウガンダ(カンパラ)
第10回	2008	韓国(昌原)



【ラムサール条約】

正式名称「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」

1971年2月2日 イラン・カスピ海沿岸の都市ラムサールで開催された国際会議で採択。

自然資源の保全と持続可能な利用に関する地球規模の条約としては初の国際条約。

湿地の生態学的特徴を損なわないよう持続可能な利用を行っていく「賢明な利用(ワイズユース)」が基本理念。当初は国境を越えて移動する渡り鳥の生息地としての湿地保全が中心課題であったが、近年は湿地生態系そのものに注目している。

2、本市の取組み

(1) 登録に向けて

ハチゴロウの戸島湿地を核とした円山川下流域を対象に、2011年開催予定のCOP11においてラムサール湿地登録を目指す。

日本での登録条件は次の三つであり、円山川下流域の登録要件は、国際的に重要な湿地であること。

国際登録基準2『絶滅のおそれのある種や群集を支えている湿地』に該当。コウノ

トリの生息地としてのエリアをその根拠に置く。

国の法律により、将来にわたって自然環境の保全が図られること。

円山川下流域は、「自然公園法（第2種特別地域及び海中公園）」により担保可。地元住民などの登録への賛意が得られること。

城崎地区を中心に住民説明会等を順次開催し、登録への賛意を得る。

(2) 登録のメリット

「国際的に重要な湿地」であることの付加価値を得る。

世界的な観光資源になるとともに、研究者等呼び込む環境学習の拠点にもなる。交流が進み、地域の活性化が期待できる。

重要な湿地を保全・再生することにより国際的な貢献ができる。

ラムサール条約が提唱する「賢明な利用」に関して、コウノトリをシンボルにした地域づくり等の先導的な取組みを国内外に提示できる。 など

(3) これまでの主だった動き

ラムサール条約登録湿地を増やす議員の会の視察

本年5月10日(土)～11日(日)、国会議員による「ラムサール条約登録湿地を増やす議員の会」(会長：川口順子氏)のメンバーが環境省やNGO等とともに来豊され、コウノトリの郷公園、ハチゴロウの戸島湿地予定地、円山川下流域等の市内各所を視察された。

(4) COP10関連事業への参加

ラムサール湿地登録をめざす本市は、COP10関連事業への参加を世界に向けた情報発信の好機とするとともに、市民の意識醸成を図る機会とする。

子どもたちの派遣

期間：10月26日(日)～30日(木)

人数：5人(城崎小学校5年生3人、小坂小学校6年生2人)

内容：ラムサールセンターが企画する、湿地・エコパークセンター・環境学習センター等の見学、韓国の学生やNPOとの交流行事などに参加。

豊岡市長の参加

期間：10月29日(水)～11月2日(日)

内容：10月30日 韓国ラムサール環境財団主催サイドイベントでのプレゼンテーション。

31日 ラムサール条約登録湿地・ウポ湿地見学。昌寧郡守訪問。

11月 1日 WWF(World Wide Fund for Nature:世界自然保護基金)主催サイドイベントでのプレゼンテーション。

NPO等の参加

期間：10月25日(土)～29日(水)

人数：NPOコウノトリ湿地ネット等 9人

内容：日韓NPO・NGO主催の湿地保全会議への参加。
ウポ湿地等、ラムサール条約登録湿地の見学。

3、日本のあゆみ

1980年に条約批准。釧路湿原（北海道）が最初の登録地になり、締約国となる。

COP9までに登録された国内13カ所の条約湿地は、水鳥生息地が中心で、ほとんどが北・東日本に分布。

その後、「地域バランス」「さまざまなタイプの湿地」等の要件を考慮して国内54カ所の候補地を選定し、うち20カ所をCOP9

(2005年)で登録。(計33カ所に)

2007年11月に閣議決定された第三次生物多様性国家戦略で、2011年までに国内の条約湿地をさらに10カ所増加させる数値目標が示された。



参考

第10回ラムサール条約締約国会議 (COP10) の日程

於：韓国慶尚南道 昌原市 (チャンウォン)

日付	時間	日程
10.27(月)	10:00-18:00	第38次常任委員会会議
10.28(火)	09:00-13:00	欧州地域会議、アフリカ地域会議、アメリカ地域会議、アジア太平洋地域会議、オセアニア地域会議
	15:00-17:00	開会式及び歓迎の辞
	17:00-18:00	特別発表：「ラムサール協約の新しいイシューと課題」
10.29(水)	10:00-13:00	全体会議 議題の採択 議事進行手続きの採択 議長団の選出 信任状委員会及びその他委員会の任命 オブザーバー承認 常任委員長長の報告
	15:00-17:00	全体会議 科学技術検討パネル(STRP)の報告 ラムサール協約事務総長の報告 以前当事国総会の決議及び勧告に関するイシュー
	17:00-18:00	特別発表：「韓国における湿地の保全と持続可能な利用」

日付	時間	日程
10.30(木)	08:45-09:45	総会委員会会議
	10:00-13:00	全体会議 戦略計画 2003-2008 進行事項の検討 戦略計画 2009-2014 草案の紹介及び討論 財政小委員会の報告及び 2009-2011 予算案の説明 決議文及び勧告文草案の検討
	15:00-18:00	欧州地域会議、アフリカ地域会議、アメリカ地域会議、アジア太平洋地域会議、オセアニア地域会議
10.31(金)	08:45-09:45	総会委員会会議
	10:00-11:00	特別発表：「2010年から2年間-これまでの過程と今後の見通し」
	11:00-13:00	全体会議（継続）
	15:00-18:00	全体会議（継続）
11.1(土)	08:45-09:45	総会委員会会議
	10:00-11:00	特別発表：「湿地そして貧困の減少：2005年以降の経過」
	11:00-13:00	全体会議（継続）
	15:00-16:00	特別発表：「統合水管理-今後10年間の見通し」
	16:00-18:00	全体会議（継続）
	20:30-22:00	欧州地域会議、アフリカ地域会議、アメリカ地域会議、アジア太平洋地域会議、オセアニア地域会議
11.2(日)	08:45-09:45	総会委員会会議
11.3(月)	08:45-09:45	総会委員会会議
	10:00-13:00	全体会議 信任状委員会の報告 会議及び討論結果の報告
	15:00-18:00	全体会議 会議及び討論結果の報告
11.4(火)	08:45-09:45	総会委員会会議
	10:00-13:00	全体会議 決議文及び勧告文の採択
	15:00-18:00	全体会議 常任委員の選出 次期当事国総会の場所及び日付の指定 第10回当事国総会報告書の採択 閉会式
	18:00	第39次常任委員会会議

